

一般社団法人
豊岡観光イノベーション

決算書類

第7期

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

一般社団法人豊岡観光イノベーション 第7期 事業報告

事業の概要と成果

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「新しい生活様式」への転換や国際的な往来の制限により、観光客数の減少など大きな影響を受け、特に、コロナ禍以前においては毎年増加していた外国人旅行者は、ほぼ皆無となり、観光事業者に極めて大きな打撃を与えてきました。ようやく、2022年10月11日、外国人旅行者の入国者数の上限が撤廃され、個人旅行客の入国も解禁されました。日本政府観光局は3月の訪日外国人旅行者数が約181万人に達し、新型コロナウイルス感染拡大前の2019年同月比の65.8%まで回復したことを発表しました。

当法人においては、外国人旅行者の入国制限の期間においても、SNS等を活用した地道な情報発信を続け、入国制限の緩和が始まる前の2022年6月からWEB上にて訪日外国人ウェルカムキャンペーンをスタートさせました。9月からは、本市への来訪の歓迎を伝える「ウェルカム動画」を発信するとともに、WEBサイト「Visit Kinosaki」経由の予約者にエコアメニティやトートバッグをプレゼントする企画「ウェルカムキャンペーン」を本格的に始めました。また、個人旅行が解禁となった10月からは、宿泊施設にて「ウェルカムカード」を配布する取り組みも行ってきました。

この結果、2022年度のWEBサイト「Visit Kinosaki」の流入数(UU)は、過去最高を記録し、同サイトにおける宿泊予約件数、予約金額も過去最高となりました。外国人旅行者の入国制限の期間における継続的な情報発信、訪日旅行解禁前から準備し、解禁のタイミングを見計らって実施した「ウェルカムキャンペーン」が功を奏し、狙っていたインバウンドのスタートダッシュに成功することができました。

2022年度は、前年度に引き続き、観光DXに力を入れ、宿泊施設で利用いただく共通PMS(ホテル管理システム)の展開、地域WEBアプリ「豊岡市スマホ観光ナビ」の開発に取り組みました。今後は、2021年度に開発した地域の宿泊予約データを自動収集して図表化するシステム「観光DX基盤」と合わせて有効活用し、観光地CRMに取り組んでまいります。

その他にも、国内観光総合サイトの構築、国内外の旅行会社に対する旅行商品造成に向けた営業活動、海外メディアへの記事露出の働きかけ、ローカルガイド養成講座、体験プログラムの企画造成、広域連携など、観光地マーケティングに精力的に取り組んできました。

損益状況は、営業利益5,218千円、営業外収益12,934千円となり、当期経常利益は18,152千円、税引き後の当期純利益は、14,615千円となりました。関係者の皆様方のご支援、ご協力をいただき役員・職員日々業務に取組みましたことをご報告いたします。

一般社団法人豊岡観光イノベーション 組織概要

1. 設立日

2016年6月1日

2. 社員

豊岡市

WILLER株式会社

全但バス株式会社

株式会社但馬銀行

但馬信用金庫

3. 役員

理事長 関貫 久仁郎

副理事長 村上 宣人

副理事長 西上 均

事業本部長 島津 太一

理事 村瀬 茂高

倉橋 建

川上 晃弘

高宮 浩之

武田 和徳

大社 充

米田 紀子

監事 作花 良祐

4. 事業本部職員

事業本部長（理事、派遣職員） 1名

派遣職員 6名

嘱託・臨時職員 5名

5. 基金拠出額

28,700千円

決 算 報 告 書

第 7 期

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月 31日

一般社団法人豊岡観光イノベーション

(一社)豊岡観光イノベーション

貸借対照表

2023年 3月31日 現在

単位:円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	90,591,971	I 流動負債	30,471,469
1 現金	28,798	1 未払金	14,537,009
2 預金	70,894,357	2 未払法人税等	3,536,700
3 売掛金	0	3 預り金	22,462
4 前払金	0	4 仮受金	10,981,198
5 立替金	0	5 未払消費税等	1,394,100
6 未収入金	19,668,816	II 固定負債	0
II 固定資産	3,650,603	負債合計	30,471,469
純資産の部			
1 有形固定資産	650,603	I 純資産	63,771,105
・一括償却資産	650,603	1 基金	28,700,000
2 無形固定資産	0	2 利益剰余金	35,071,105
・ソフトウェア	0	・繰越利益剰余金	35,071,105
3 投資その他の資産	3,000,000	純資産合計	63,771,105
・差入保証金	3,000,000		
資産合計	94,242,574	負債・純資産合計	94,242,574

(一社)豊岡観光イノベーション

損益計算書

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月31日

単位:円

科目	金額	備考
I 純 売 上 高		
1) Visit Kinoshaki 手数料	1,323,899	
2) ツアーア一等 売上高		
・着地型ツアーア一等 売上高	7,976,952	
・旅行会社ツアーア一等 売上高	556,530	
・ふるさと納税返礼品ツアーア一等 売上高	215,510	
3) 観 察 売 上 高	404,347	
4) マーケティング 売 上 高	153,219	
5) 会 費 収 入 高	1,530,000	
6) 委 託 料 収 入 高		小計 12,160,457
・Visit Kinoshaki 運用料	3,894,000	
・海外プロモーション事業料	2,017,790	
・機動的プロモーション事業料	14,673,000	
・国内WEBマーケティング事業料	3,663,000	
・国内向けホームページ改修事業料	1,700,000	
・国内誘客キャンペーン事業料	1,199,000	
・高付加価値ツーリズム推進事業料	906,000	
・市内周遊促進事業料	19,164,200	
・観光施策評価指標テータ収集事業料	1,802,000	
・豊岡観光DXシステム構築事業料	30,000,000	
・アンケート委託事業料	180,000	
・ネオカルTOYOOKA WEB制作事業料	534,600	
・フランチャイズトヨオカ管理運営事業料	402,450	
・豊岡観光DX地域アプリ開発運用事業料	20,000,000	
・その他の業務委託料	813,342	<u>113,109,839</u>
II 売 上 原 価		小計 100,949,382
1) ツアーア一等 関連経費		
・着地型ツアーア一等 関連経費	5,807,373	
・旅行会社ツアーア一等 関連経費	473,442	
2) 観 察 関連経費	22,800	<u>6,303,615</u>
壳 売 上 総 利 益		<u>106,806,224</u>
III 販 売 費 お よ び 一 般 管 理		
1) 給 料	9,640,451	
2) 賞 奨	1,730,356	
3) 法 定 福 利	1,603,258	
4) 福 利 厚 生	50,578	
5) 広 告 宣 伝	28,322,176	
6) 旅 費 交 通	662,856	
7) 交 通	33,786	
8) 会 議	126,387	
9) 車 両	167,741	
10) 通 信	465,055	
11) 水 道 光	360,000	
12) 租 税 公	139,021	
13) 消 耗 品	1,211,057	
14) 共 益	262,014	
15) 貨 借	1,392,000	
16) リ 一	796,224	
17) 修 繕	0	
18) 保 険	103,438	
19) 支 払	4,839,183	
20) 諸 倒	0	
21) 減 債	1,704,184	
22) 委 託	45,270,549	
23) 研 修	385,000	
24) 消 費	2,323,300	<u>101,588,614</u>
當 業 利 益		<u>5,217,610</u>
IV 営 業 外 収 益		
1) 受 取 利 息	524	
2) 市 帰 金 入	12,276,896	
3) 国 税 金 入	554,550	
4) 雑 収 入	102,225	<u>12,934,195</u>
V 営 業 外 費 用		
1) 支 払 利 息	0	
2) 雑 損 益	87	<u>87</u>
経 税 引 常 利 益		<u>18,151,718</u>
税 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		<u>18,151,718</u>
当 期 純 利 益		<u>3,536,780</u>
		<u>14,614,938</u>

個 別 注 記 表

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法

無形固定資産・・・定額法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。